

Q13. 家族の方などが患者さんと接する時に気をつけることは？

A13. 患者さんからうつらないよう気をつけましょう。ただし、通常疥癬の患者さんには過剰な対応をとらないようにしましょう。

通常疥癬

- 患者さんに接する前後はきちんと手を洗いましょう。
- 長い時間、肌と肌、手と手を直接触れないよう注意しましょう。
- 同室で布団を並べて寝ないようにしましょう。
- タオルなど肌に直接ふれるものを一緒に使わないようにしましょう。



角化型疥癬

- 患者さんに接する前後はきちんと手を洗いましょう。
- 感染力が強いので、患者さんに接するときは手袋や予防着をつけましょう。
- 患者さんの部屋に入る時は、靴・スリッパを履き替えましょう。靴底に付いているゴミを外に出さないように注意しましょう。
- 患者さんから剥がれ落ちたあか(カサブタ、鱗屑、角質)^{りんせつ}の中に多数のヒゼンダニがあるので、着替えやリネン交換、洗濯物を運ぶ際にも、剥がれ落ちたあかを飛び散らせないよう注意が必要です。
- 患者さんの洗濯物は、50°C以上のお湯に10分間以上浸した後に洗濯して、十分乾かしましょう。乾燥機を使用する場合は普通に洗濯しても構いません。
- 患者さんの部屋はモップ、粘着シートなどで落屑を回収後、掃除機（フィルター付きが望ましい）で清掃しましょう。
また、治療を始めたときと終わったときには部屋に殺虫剤を噴霧しましょう。

